別添資料11

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表: 年 月 日

事業所名 てあてるの芽 大阪港

保護者等数(児童数) 6 回収数 6 割合 100 %

1			エールクでロ	1415	どちらとも	1313=	Andrew day	ご意見	ご意見を踏まえた
### 1 十くもの活動ののスペースが十分に確保で			チェック項目	はい	いえない	いいえ	わからない	二思兄	
	境 ・ 体制整	1		6	0	0	0		と、課題や宿題に取り組む一室も定員 数は充分過ごせるほどの広さを確保し
整備 事業所の設備等は、スロープや手すりの設 力化でいるか 1 型がはアプレー化の配慮が適切になされているか 通切な 支援 の がいのない子どもと保護者のニーズや課題が客観的に されているか 5 0 0 1 を設施されたいで、放置後等デイサービス計 画上が作成とれているか 5 0 0 1 を設施してリアラルでおいるか されているか 6 0 0 1 を提修したしているか を対化のない子どもご動する機会があるか を対しい。デともの検別を保護者と伝え合 い、デともの発達の体況を保護者と伝え合 い、デともの発達の体況を保護者と伝え合 い、デともの発達の体況を保護者と伝え合 い、デともの発達の体況を保護者と伝え合 い、デともの発達の体況を保護者との様子や課題について共 を対し、デともの検測を必要し、保護者会等の では、おいるか のな利を整備するとともに、デともや保護者 に周知・説明し、苦情があった場合に迅速 からたのの体制を整備するとともに、デともや保護者 に周知・説明し、苦情があった場合に迅速 からできるよう努めてい をかつ適切に対応しているか 1 0 5 現在会話的がより、 現在会話があるかと 現在を表しているか の体制を発酵するとともに、デともや保護者 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に関する自己になるか も ないと明明を発信しているか も ないと明明を存在しているか も ないと明明を存在しているか も ないと明明を存在しているか も ないと明明を存在しているか も ないと同時のに対しているか も ないと明明を行っているが、 は、保護者の関すをとを当 で変配しているが、 は、保護者のと のは、発酵を対しているか も ないとの対なでニュアルを策定し、保護者に関 ないとの対なでニュアルを策定し、保護者に関 ないとの対なでニュアルを策定し、保護者に関 ないとの対なを引きがにているか も ないとの対なを必要と で変配しているが、 は、保護者の ないとを当 で変配しているが、 は、それをかのエニュアルを策定し、保護者に関 ないとの対なでニュアルを策定し、保護者に関 ないとのがないないるが は、これの他必要な訓練が行われているか も ないとの対なな訓練が行われているか も は、その他必要な訓練が行われているか も は、その他必要な訓練が行われているか も は、その他必要な訓練が行われているか も は、その他必要な訓練が行われているか も は、その他必要な訓練が行われているか も は、その他必要な訓練が行われているか も は、これを可能と は、これを可能と は、これを		2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	0	1		
### 4 分析された上で、放課後等デイサービス計 5 0 0 1 1 回 1 1 回 1 2 2 2 2 2 2 2 3 3 1 0 2 2 2 2 3 3 3 1 0 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		3	置などバリアフリー化の配慮が適切になさ	5	0	0	1		室内は安全に過ごすことができるよう段 差のないパリアフリー、ジョイントマット を敷き詰めて怪我の防止に努めてい る。
大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	切な支援の提	4	分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計</u>	5	0	0	1		
供 6 が、株食が塩ップランが工業組をOV気が、降からできるようでいくす。 0 1 0 4 今後機会を作っていくす定。 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な		5		5	0	0	1		
1		6		0	1	0	4		今後機会を作っていく予定。
8	護者への説明	7		6	0	0	0		
日本の		8	い、子どもの発達の状況や課題について共	5	1	0	0		送迎時の会話で日々の様子
「でしているか		9		6	0	0	0		
の説明等		10	開催等により保護者同士の連携が支援され	0	1	0	5		家族支援プログラムを取りい
12 達のための配慮がなされているか		11	の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知・説明し、苦情があった場合に迅速	3	1	0	2		迅速に確認、 対応できるよう努めてい
13 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 6 0 0 0 0 0 0 0 日々発信しているので、今後も 引き続き取り組む。		12		6	0	0	0		
# 常		13	要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者	6	0	0	0		発信しているので、今後も
常時等の対応 15 染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか 5 1 0 0 0 で実施している。 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか 3 1 0 2 月に一度避難訓練を行っているが、曜日を固定せずに行っているが、曜日を固定せずに行っている。 本 17 子どもは通所を楽しみにしているか 6 0 0 0		14	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	0		
の 対 応 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか 3 1 0 2 月に一度避難訓練を行っているが、曜日を固定せずに行っているが、曜日を固定せずに行っていく。 満足 定 毎 17 子どもは通所を楽しみにしているか 6 0 0 0	常時等の対	15	染症対応マニュアルを策定し、保護者に周	5	1	0	0		成し毎月避難訓練などを通し
		16		3	1	0	2		いるが、曜日を固定せずに
	足	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	0		
		18	事業所の支援に満足しているか	5	1	0	0		

^{*1} 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。